

福山青年会議所主催

アジア少年少女国際交流事業 in 福山

ボランティア活動参加

アジア少年少女国際交流事業 in 福山とは、福山青年会議所（JC）が主催した『福山の地でアジア近辺の子どもたちが国際交流を通じて、国際的理解および親善を助長し、世界の繁栄と平和に寄与する国際交流事業』であり、『海外の子どもたち参加者が、約6日間、寝食を共にしながら、プログラムを受けていくものです。その内容は、ホームステイや学校訪問プログラム、日本文化体験プログラム、福山文化体験プログラム、など互いの国の違いを感じながら、相互理解につなげていく』活動を行います。（『』は福山青年会議所ホームページから引用）

2016年度は、アジアの枠を超えて世界10か国42名の小・中学生が参加し、テーマ『相互理解～世界とつながる～』として、交流活動を中心とした「サマースクール」、日本や福山の人や地域の素晴らしさを感じてもらう「スペシャルプログラム」、学校訪問、「ホームステイプログラム」からなる活動を行います。それぞれの活動には多くの福山のボランティアが参加し、企画・運営を行っています。

広島大学附属福山中・高等学校の生徒も、2015年度より、国際交流のひとつの機会ととらえ校内で紹介してボランティアを募り参加しています。特に2016年度の参加生徒たちは、青年会議所のリーダーや市民ボランティアの方々と議論しながら企画・運営のお手伝いをさせていただきました。

事業実施日 2016年7月19日（火）～7月25日（月）の7日間

当校参加者 中学校3年生 5名
高校1年生 10名（高校2年生は修学旅行と重なったため募集せず。）

参加活動内容 7月20日、21日に実施されたサマースクールで、イベントの司会や、子どもたちのグループのリーダーなどの役割やサポート、22日の学校訪問・ホームステイマッチングでの司会やサポート、24日のスペシャルプログラムのサポートなどを担った。また、事前の企画段階の打ち合わせにも数回参加している。

以下、この活動に参加した生徒の感想を紹介します。

（中学3年生）

- ・外国の子ども達だけではなく、彼らのエスコートスタッフとも英語で会話することが出来て、とてもいい経験だった。ベトナムの方はとてもなまっていて、聞き取れなかったこともあったが、JCIの方々にも助けていただいた。常に英語が行き交っているところにいられて新たに英語の表現を学ぶことが出来たり、すぐに英訳したりと学ぶものが多かった。とても充実した楽しい3日間でした。
- ・友達に誘われて最初はなんとなくやってみたくて参加したボランティアでしたが、説明会から始まり、打ち合わせを経て、実際に参加し、終わってみると、とてもよい体験ができたし、楽しめたと思います。学校で説明会の時の申し込みでは、運営補助という立場でのボランティアとして申し込みましたが、実際、副班長もさせてもらいました。私は人をまとめたり、リーダーとして引っ張っていくのが得意なわけではなく、ましてや「海外の子ども達だなんて」という感じでしたが、このボランティアをしていくうちに少しずつ自分から声をかけ

てみたりするようになり、コミュニケーションはとれたと思います。副班長以外にも運営補助として参加し、ここでもコミュニケーションが取れました。今思い返すと、まだまだ英語力がなく、伝えたくても伝えられな
いと大変でしたが、それもよい経験だったと思います。もっと英語が上手になりたいとさらに勉強する気が出
るきっかけになりました。今回は、参加側、運営側どちらも、しかも英語が必要になるというボランティア
に参加でき、よかったです。終わってみると案外何とかなるものだと思います。ありがとうございました。
事前打ち合わせでは分からないことも多くありましたが、すべて楽しみながら終えることができました。とて
もよい経験でした。機会があればまた参加したいです。

- ・私は英語があまり話せないから意思疎通ができるか不安だったが、子どもたちは、私の英語も一生懸命聞いてくれたし、言葉が通じないからと言って意思疎通ができないわけではないと感じることが出来た。海外の人と関わる機会は貴重だし、このプログラムではある程度主体的に参加できてよかったと思う。
- ・今回、アジア少年少女国際交流ボランティア in 福山のボランティア活動に参加して、海外の子どもたちとふれあうことによって、自分の英語力を確認するとともに、その向上をはかることができた。そして、英語が完璧に話せなくても、伝えようとする意思があれば伝わるということが分かった。また、人のお世話をすることの難しさや、達成感を感じることができた。今回のように言葉も通じず、文化も違う子どもたちに注意をしたりすることは大変難しいことだった。しかし、それで理解してもらえたときの達成感にはかりしれないものだった。これを機に積極的にボランティア活動や国際交流に参加していきたい。

(高校1年生)

- ・海外に行ったことがなく、交流する機会が今までなかったので福山で海外の子どもたちと交流するという体験は自分にとってとても大きなものでした。初めはうまく英語が出てこなくて困りましたが、最後には慣れてきて友達もたくさんできて楽しかったです。
- ・私は、海外の子ども達と英語でコミュニケーションをどれだけ取れるものなのか又、自分の英語は通じるのか、それを確かめたいという思いも少しあり、参加しました。サマースクールの副班長をやったのは前半の1日だけだったので、短かったのですが、日本の子どもと海外の子どもたちが会話をすることを訳したりして手伝うことが出来ました。自分が外国の方と直接話す機会はあるとしても、なかなか通訳とまではいきませんが、こういった経験をするのはあまりないので、それが出来たのはよかったなと思います。そして私は日本と海外の子どもたちが仲良くなれるようにクイズ大会のようなものをしたのですが、その時に司会をさせていただきました。日本語でもあまり司会はしたことがないのに、英語ですとなると、とても緊張しましたが、外国の子どもたちがルールをわかってくれていたのが安心しました。このプログラムに参加して、外国の子どもたちとたくさん話すことが出来たし、自分の英語力にすこし自信を持てたので参加してよかったなと思います。
- ・私は数少ない外国人との交流の場だと思いこのプログラムへの参加を決定しましたが、よい意味でその期待を裏切るものでした。外国からやってくるのは同年代ではなく小学生がほとんどで、英語で交流をする、というよりはお世話をするというものでした。1つのグループには、日本の小学生が5~6人ほど、外国からやってきた子が4~5人ほどいたのですが、彼らの世話をする中で、日本の子も外国の子も一緒なんだな、ということ強く実感しました。日本の子と外国の子が英語を使わずにとっても楽しくあそんで仲良くなっていくのを見て、私は今まで外国人というものに対して身構えすぎであったことを痛感させられました。また、グループの中に1人だけ13歳と割と年齢の近いニュージーランドから来た女の子がいたのですが、私が以前ニュージーランドに2週間行ったことがあるということで、特に仲良くなることができ、今でも毎日のように連絡を取っています。このような出会いもあり、本当に参加して良かったです。また、外国人だけではなく同じように国際交流に興味のある友達や、国際交流に詳しい大人の方たちと、いろいろな話をすることができました。合計で3日間だ

けでしたが、多くの出会いや学びがありました。来年度も是非参加したいと思いました。

- ・海外の子とふれあうのはこれが初めてでした。始まる前は頭が考えすぎてしまってどうしようかと少し恐かったのですが、会ってからはそんなものはなくなりました。言語は違えど行動や考えは日本の子とほとんど一緒です。英語やジェスチャー、表情を使って会話し、時間を共有することはとても楽しかったです。このようなプロジェクトがあればまた参加したいと思います。
- ・とても充実した数日間で、貴重な体験をさせていただくことができました。普段海外の方と交流する機会がほとんどない中で、同年代（年下）の方と英語でのコミュニケーションをはかろうと努力したことで、自分の英語力の無さを実感し、反省し、今後のモチベーションになったとともに、純粋に楽しくやりがいをもって取り組むことができました。また、小学生同士で、日本のこと他国の子が、言葉は通じずとも一緒に活動したり遊んだりしているのを見て、はっとさせられたというか、また少し視野が広がった感覚がありました。言葉をこえたつながりを目の当たりにし、世界が少し近くなったように思えました。

感想より、英語を使ってのコミュニケーションの機会として有意義な時間を過ごしたことがわかります。英語でのコミュニケーションはもちろんですが、子どもたちが、言葉を超えて互いに楽しんでいる様子を目の当たりにすることで、新しい視点が養えたことは重要なことです。

また、企画段階での青年会議所の方々や一般のボランティアの方々との交流が、生徒たちの成長につながる活動になっていました。

参加生徒たちの全員から機会が合えば来年度も参加してみたいという意見をもらっており、企画段階から参加したプログラムで、学校の枠を超えた集団の中で意見を調整し、やりがいを持って協力して役割を成し遂げることができました。

学校の枠にとどまらないこのような活動の機会を設けてくださった福山青年会議所の皆さまに、この場をお借りして感謝申し上げます。

